

実験で取得する情報と法人文書との関係

<ステップ2 実験>

データ種類	データ内容	データ保管場所	データ保持期間	判断上のポイント
撮影情報	映像センサーにより施設利用者の映像を撮影した情報	大阪ステーションシティ施設内（ゲートウェイ装置の揮発性メモリ）	10 秒以下	<ul style="list-style-type: none"> 「保有」しているか ・揮発性メモリ上 ・保持時間 10 秒以下 ・人流統計情報生成過程上の一時データ 「組織的に利用」するものか ・人流統計情報生成過程上の一時データ ・コンピュータ上の処理プロセスのみがアクセス（人はアクセスしない運用）
特徴量情報	の映像の解析処理を行い生成した情報	大阪ステーションシティ施設内（ゲートウェイ装置のハードディスク）	数分～数時間	<ul style="list-style-type: none"> 「保有」しているか ・保持時間（～数時間） ・人流統計情報生成過程上の一時データ 「組織的に利用」するものか ・人流統計情報生成過程上の一時データ ・コンピュータ上の処理プロセスのみがアクセス（人はアクセスしない運用）
移動経路情報	の情報のマッチング処理を行い、その結果同一人物の情報と処理プログラムが判断した情報を関連付けした情報（どのような移動経路を辿ったかが分かる情報）	NICT施設内（ストレージ装置）	1 日～1 週間 最大集計期間は要検討	<ul style="list-style-type: none"> 「保有」しているか ・保持時間（～1 週間） ・人流統計情報生成過程上の一時データ 「組織的に利用」するものか ・人流統計情報生成過程上の一時データ ・コンピュータ上の処理プロセスのみがアクセス（人はアクセスしない運用）
人流統計情報	の情報を集計し作成する統計情報	NICT施設内（ストレージ装置）	利用終了時まで	<ul style="list-style-type: none"> 「保有」しているか ・保有期間（～利用終了時まで） ・ファイルとして生成 「組織的に利用」するものか ・実験（精度、性能、有効性）の検証に利用（施設管理者へ提供）

動作ログ情報	、 、 を生成するプログラム、および、プログラムが動作するコンピュータの動作状態を記録した情報	大阪ステーションシティ施設内（ゲートウェイ装置のハードディスク） 、 N I C T 施設内（ストレージ装置）	利用終了時まで	「保有」しているか ・ 保有期間（～利用終了時まで） ・ ファイルとして生成 「組織的に利用」するものか ・ 実験システムの動作検証に利用（異常の検知、動作確認など）
--------	---	--	---------	---

<ステップ2 実験>

からの情報（データ）について：

「当該独立行政法人等の役員又は職員が組織的に用いるもの」とは、組織としての共用文書の実質を備えた状態のものを意味する。

（「独立行政法人情報通信研究機構が保有する法人文書の開示請求に対する開示決定等に係る審査基準」による）

当該情報は、人流統計情報を得るための一連の処理過程で一時的に生成され、かつ、短期間で消去される。また、組織の職員が直接アクセスすることができないよう運用する。このような情報については、組織としての共用文書の実質を備えた状態とは言えず、法人文書にはあたらないと判断。

の情報（データ）について：

当該情報は、単なる中間的生成物ではなく、本実験の目的を達成するうえで必要不可欠な情報であり、施設管理者への提供・実験の検証に直接必要とされる情報。このため、法人文書としての要件を備えていると判断。

の情報（データ）について：

当該情報は、本実験のシステムの動作を確認するために職員がアクセスする情報であり、プログラムが意図通りに動作しているかどうかを、動作時、および、後日確認する上で必要となる情報。このため、法人文書としての要件を備えていると判断。

上記判断の妥当性について、ご議論願いたい。

<ステップ1 実験>

データ種類	データ内容	データ保管場所	データ保持期間	判断上のポイント
撮影情報	映像センサーにより施設利用者の映像を撮影した情報	1)大阪ステーションシティ施設内（ゲートウェイ装置のハードディスク） 2)NICT施設内、および、共同研究先（ストレージ装置、または、共同研究先のハードディスク）	1)撮影後数日間 2)検証終了時まで	「保有」しているか ・ゲートウェイ装置内のハードディスク、および、NICT施設内のストレージ装置上に保管 大阪ステーションシティ施設内から他のストレージへはポータブルディスク装置を經由して移動 「組織的に利用」するものか ・実験（精度、性能）検証のために利用（共同研究先と共用を予定）
特徴量情報	の映像の解析処理を行い生成した情報	NICT施設内（ストレージ装置）	検証終了時まで	「保有」しているか ・ストレージ装置上に保管 「組織的に利用」するものか ・実験（精度、性能）検証に利用
移動経路情報	の情報のマッチング処理を行い、その結果同一人物の情報と処理プログラムが判断した情報を関連付けした情報（どのような移動経路を辿ったかが分かる情報）	NICT施設内（ストレージ装置）	検証終了時まで	「保有」しているか ・ストレージ装置上に保管 「組織的に利用」するものか ・実験（精度、性能）検証に利用
人流統計情報	の情報を集計し作成する統計情報	NICT施設内（ストレージ装置）	検証終了時まで	「保有」しているか ・ストレージ装置上に保管 「組織的に利用」するものか ・実験（精度、性能）検証に利用

～ の情報（データ）について：

ステップ1 実験で取得される ～ の情報は、保有かつ組織的に利用するものであり、法人文書としての要件を備えていると判断。

上記判断の妥当性について、ご議論願いたい。